

# 宇城広域連合南消防署三角分署新築工事

## 図面リスト

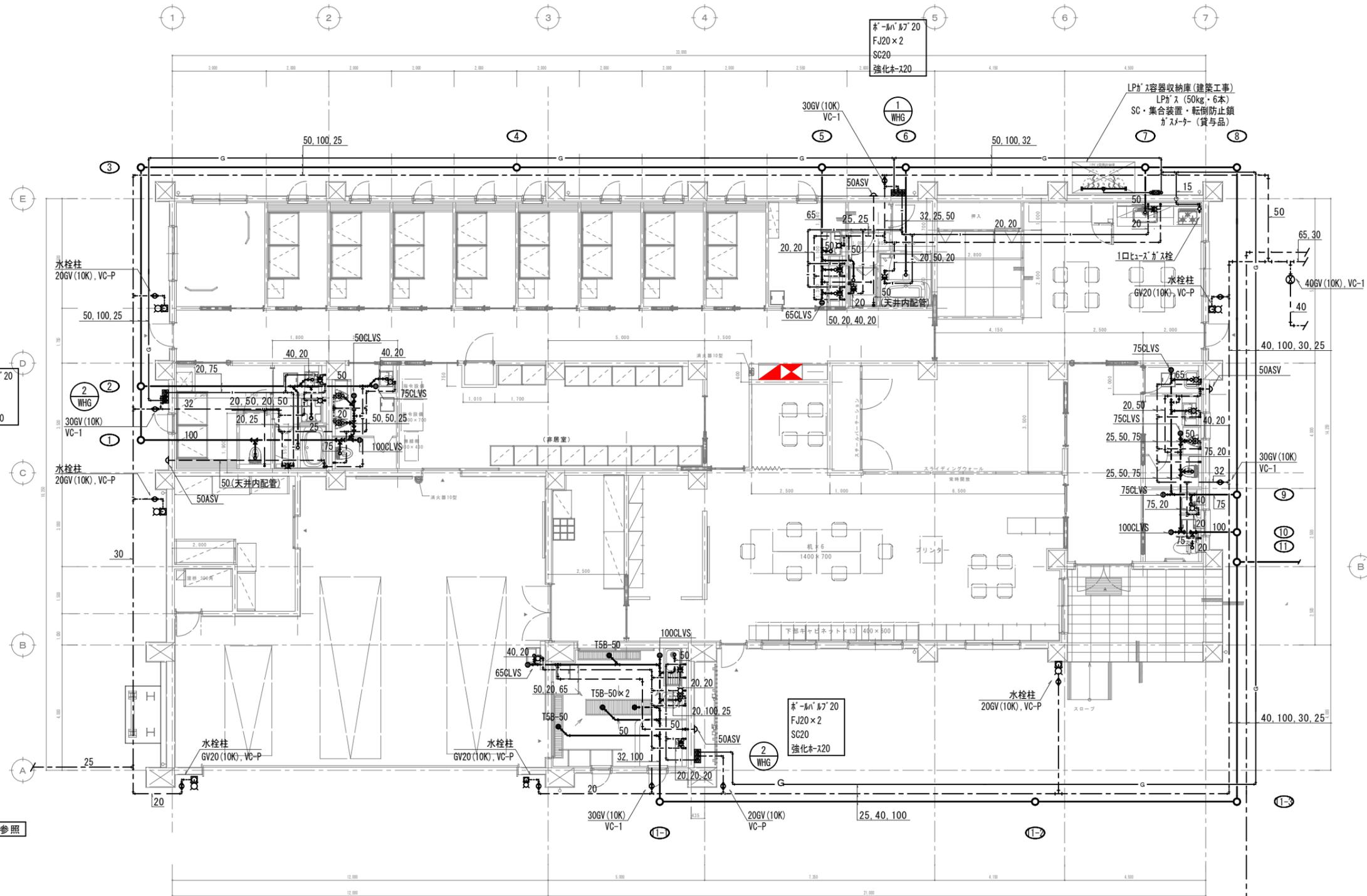
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
M-01	機械設備工事特記仕様書	M-09	空調設備平面図
M-02	機械設備工事特記仕様書	M-10	計装設備平面図
M-03	配置図	M-11	換気機器表
M-04	衛生器具表	M-12	換気設備平面図
M-05	給排水設備平面図		
M-06-1	受水槽詳細図		
M-06-2	受水槽廻り詳細図		
M-07-1	浄化槽構造図		
M-07-2	浄化槽配筋図		
M-07-3	浄化槽制御盤		
M-07-4	浄化槽電気配線図		
M-08	空調機器表		



章	項目	特記事項	仕様	数量	単位	備考																																																																																																																																																																																
4 共通 事項	○ 1 機器等の配置	設計図において機器の配置は、数量及び関係位置のみを示し、正確な位置はさらに打合せを必要とする																																																																																																																																																																																				
	○ 2 機材等の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書によるほか、監督員の指示による (1.1.4.5) (1.1.4.6)																																																																																																																																																																																				
	○ 3 容量などの表示	(1) 機器類の能力、容量等 (電動機出力は除く) は原則として表示された数値以上とすること (2) 電動機出力は原則として表示された数値以下の容量とすること																																																																																																																																																																																				
	○ 4 耐震施工	機器設備の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針(独立行政法人建築研究所監修 2014年版)」による (1) 設計用水平地震力 機器の重量 (自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効重量) [kN] に、次に示す設計用標準震度(以下)を乗じたものとする 局所震度法による建築設備機器の設計用標準震度(Ka) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="4">耐震安全の分類</th> <th rowspan="2">※地域係数 Z=1.0 としている ※該当する施設に○をつけること ※下記に示すものは、重要機器、重要水槽とする</th> </tr> <tr> <th>○ 特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> <th>一般の施設</th> </tr> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0 (2.0)</td> <td>2.0 (2.0)</td> <td>1.5 (2.0)</td> <td>1.5 (1.5)</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>1.5 (1.5)</td> <td>1.5 (1.5)</td> <td>1.0 (1.5)</td> <td>1.0 (1.0)</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階</td> <td>1.0 (1.0)</td> <td>1.5 (1.0)</td> <td>0.6 (1.0)</td> <td>0.4 (0.6)</td> <td>0.6</td> </tr> </table> ※上層階の定義は次による <table border="1"> <tr> <th>建築物階数</th> <th>上層階</th> <th>建築物階数</th> <th>上層階</th> </tr> <tr> <td>2～6階建</td> <td>最上階</td> <td>10～12階建</td> <td>上層3階</td> </tr> <tr> <td>7～9階建</td> <td>上層2階</td> <td>13階建</td> <td>上層4階</td> </tr> </table> ※天井から吊る空調室内機、全熱交換器等は振れ止めを施すこと ※ 形鋼振止め支持をする横走り管の末端部に形鋼振止めを施すこと (2) 設計用鉛直地震力 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とした値とする	設置場所	耐震安全の分類				※地域係数 Z=1.0 としている ※該当する施設に○をつけること ※下記に示すものは、重要機器、重要水槽とする	○ 特定の施設	一般の施設		一般の施設	上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (1.5)	1.0	中間階	1.5 (1.5)	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.0)	0.6	1階及び地下階	1.0 (1.0)	1.5 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)	0.6	建築物階数	上層階	建築物階数	上層階	2～6階建	最上階	10～12階建	上層3階	7～9階建	上層2階	13階建	上層4階																																																																																																																																												
	設置場所	耐震安全の分類				※地域係数 Z=1.0 としている ※該当する施設に○をつけること ※下記に示すものは、重要機器、重要水槽とする																																																																																																																																																																																
		○ 特定の施設	一般の施設		一般の施設																																																																																																																																																																																	
	上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (1.5)	1.0																																																																																																																																																																																
	中間階	1.5 (1.5)	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.0)	0.6																																																																																																																																																																																
	1階及び地下階	1.0 (1.0)	1.5 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)	0.6																																																																																																																																																																																
	建築物階数	上層階	建築物階数	上層階																																																																																																																																																																																		
	2～6階建	最上階	10～12階建	上層3階																																																																																																																																																																																		
	7～9階建	上層2階	13階建	上層4階																																																																																																																																																																																		
	○ 5 建物導入部の変位取収	・ 図示による ※ 標準図 施工4.5 ( (a) ・ (b) ○ (c) ) による ( ○ 給水 ○ ガス ・ 消火 ・ )																																																																																																																																																																																				
	○ 6 建物EXPの変位取収	・ 図示による ※ 標準図 施工7 ( (a) ・ (b) ・ ) による ( ・ 給水 ・ ガス ・ 消火 ・ ) (2.2.4.1)																																																																																																																																																																																				
	○ 7 総合試験運転調整	※ 各機器の個別運転後に下記の総合試験運転調整を行い、測定報告書提出する 改修工事で影響のある範囲で行う(2.1.3.3) ・ 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内気流及び室内外空気の温度の測定 ・ 騒音の測定 ○ 排水水の水量測定 (1箇所) ・ 補給水の水量測定 (1箇所)																																																																																																																																																																																				
	○ 8 配管工事	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">管種</th> <th colspan="2">管種</th> <th colspan="2">保温材</th> <th colspan="2">(屋内露出)</th> <th colspan="2">(屋外露出)</th> <th colspan="2">(露出)</th> </tr> <tr> <th>冷温水</th> <th>給排水</th> <th>保温材</th> <th>保温度</th> <th>材質</th> <th>厚さ</th> <th>材質</th> <th>厚さ</th> <th>材質</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td>冷温水</td> <td>SGP(白)</td> <td>STPG370</td> <td>SUS304</td> <td>・</td> <td>G</td> <td>R</td> <td>P</td> <td>合成樹脂製カバー1</td> <td>※ガルバ</td> <td>SUS</td> <td>アルミガラスクロス</td> </tr> <tr> <td>給排水</td> <td>SGP(白)</td> <td>SGP-VA</td> <td>SUS304</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>蒸気</td> <td>SGP(黒)</td> <td>STPG370</td> <td>SUS304</td> <td>・</td> <td>G</td> <td>R</td> <td>合成樹脂製カバー1</td> <td>※ガルバ</td> <td>SUS</td> <td>アルミガラスクロス</td> </tr> <tr> <td>高温水</td> <td>SGP(黒)</td> <td>STPG370</td> <td>SUS304</td> <td>・</td> <td>G</td> <td>R</td> <td>合成樹脂製カバー1</td> <td>※ガルバ</td> <td>SUS</td> <td>アルミガラスクロス</td> </tr> <tr> <td>冷気</td> <td>SGP(黒)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>給気</td> <td>○新熱材被覆鋼管 (JCDA0009) シングル</td> <td>ベア</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>合成樹脂製カバー1</td> <td>※ガルバ</td> <td>SUS</td> <td>アルミガラスクロス</td> </tr> <tr> <td>排水(黒P)</td> <td>SGP-VA</td> <td>OSGP-VB</td> <td>SUS304</td> <td>・</td> <td>OG</td> <td>R</td> <td>P</td> <td>合成樹脂製カバー1</td> <td>・</td> <td>着色アルミガラスクロス</td> </tr> <tr> <td>○ HI-VP</td> <td>・</td> <td>OSGP-VD</td> <td>SUS304</td> <td>・</td> <td>G</td> <td>R</td> <td>P</td> <td>・</td> <td>※ガルバ</td> <td>SUS</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>給湯</td> <td>SGP-HVA</td> <td>SUS304</td> <td>・</td> <td>OG</td> <td>R</td> <td>合成樹脂製カバー1</td> <td>※ガルバ</td> <td>SUS</td> <td>着色アルミガラスクロス</td> </tr> <tr> <td>消火</td> <td>SGP(白)</td> <td>STPG370</td> <td>・</td> <td>G</td> <td>R</td> <td>P</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>排水(黒P)</td> <td>○ VP</td> <td>RP-VP</td> <td>・</td> <td>OG</td> <td>R</td> <td>P</td> <td>合成樹脂製カバー1</td> <td>・</td> <td>アルミガラスクロス</td> </tr> <tr> <td>(黒P)</td> <td>VP</td> <td>VU</td> <td>RP-VU</td> <td>RS-VU</td> <td>・</td> <td>G</td> <td>R</td> <td>P</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>通気</td> <td>○ VP</td> <td>VU</td> <td>RP-VP</td> <td>・</td> <td>G</td> <td>R</td> <td>P</td> <td>合成樹脂製カバー1</td> <td>・</td> <td>アルミガラスクロス</td> </tr> <tr> <td>※新熱材被覆鋼管</td> <td>OSGP(白)</td> <td>ガス用</td> <td>※75mm径</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> 注 GHはグラスウール、RHはロックウール、Pはポリスチレンフォーム 注 都市ガスはガス事業者の供給規定による 注 SUS管接合は ( ) とする (2.2.1.2) (2.2.4.1)～(2.3.1.6) 注 使用する管種、保温材、保温度については原監督員と協議のうえ、変更することができる。 ※ 自動 (1) 水用 弁箱 ( ○ 青銅製 ・ SUS製 ) フロート ( ・ SUS製 ・ 合成樹脂製 ) (2.2.6.5) (2) 蒸気用 弁箱 ( ・ 青銅製 ・ 鋳鉄製 ) ベローズ ( ・ 青銅製 ・ SUS製 )	管種	管種		保温材		(屋内露出)		(屋外露出)		(露出)		冷温水	給排水	保温材	保温度	材質	厚さ	材質	厚さ	材質	厚さ	冷温水	SGP(白)	STPG370	SUS304	・	G	R	P	合成樹脂製カバー1	※ガルバ	SUS	アルミガラスクロス	給排水	SGP(白)	SGP-VA	SUS304	・	・	・	・	・	・	・	・	蒸気	SGP(黒)	STPG370	SUS304	・	G	R	合成樹脂製カバー1	※ガルバ	SUS	アルミガラスクロス	高温水	SGP(黒)	STPG370	SUS304	・	G	R	合成樹脂製カバー1	※ガルバ	SUS	アルミガラスクロス	冷気	SGP(黒)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	給気	○新熱材被覆鋼管 (JCDA0009) シングル	ベア	・	・	・	・	合成樹脂製カバー1	※ガルバ	SUS	アルミガラスクロス	排水(黒P)	SGP-VA	OSGP-VB	SUS304	・	OG	R	P	合成樹脂製カバー1	・	着色アルミガラスクロス	○ HI-VP	・	OSGP-VD	SUS304	・	G	R	P	・	※ガルバ	SUS	・	給湯	SGP-HVA	SUS304	・	OG	R	合成樹脂製カバー1	※ガルバ	SUS	着色アルミガラスクロス	消火	SGP(白)	STPG370	・	G	R	P	・	・	・	・	排水(黒P)	○ VP	RP-VP	・	OG	R	P	合成樹脂製カバー1	・	アルミガラスクロス	(黒P)	VP	VU	RP-VU	RS-VU	・	G	R	P	・	・	通気	○ VP	VU	RP-VP	・	G	R	P	合成樹脂製カバー1	・	アルミガラスクロス	※新熱材被覆鋼管	OSGP(白)	ガス用	※75mm径	・	・	・	・	・	・	・				
	管種	管種		保温材		(屋内露出)		(屋外露出)		(露出)																																																																																																																																																																												
		冷温水	給排水	保温材	保温度	材質	厚さ	材質	厚さ	材質	厚さ																																																																																																																																																																											
	冷温水	SGP(白)	STPG370	SUS304	・	G	R	P	合成樹脂製カバー1	※ガルバ	SUS	アルミガラスクロス																																																																																																																																																																										
	給排水	SGP(白)	SGP-VA	SUS304	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																										
	蒸気	SGP(黒)	STPG370	SUS304	・	G	R	合成樹脂製カバー1	※ガルバ	SUS	アルミガラスクロス																																																																																																																																																																											
	高温水	SGP(黒)	STPG370	SUS304	・	G	R	合成樹脂製カバー1	※ガルバ	SUS	アルミガラスクロス																																																																																																																																																																											
	冷気	SGP(黒)	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																											
給気	○新熱材被覆鋼管 (JCDA0009) シングル	ベア	・	・	・	・	合成樹脂製カバー1	※ガルバ	SUS	アルミガラスクロス																																																																																																																																																																												
排水(黒P)	SGP-VA	OSGP-VB	SUS304	・	OG	R	P	合成樹脂製カバー1	・	着色アルミガラスクロス																																																																																																																																																																												
○ HI-VP	・	OSGP-VD	SUS304	・	G	R	P	・	※ガルバ	SUS	・																																																																																																																																																																											
給湯	SGP-HVA	SUS304	・	OG	R	合成樹脂製カバー1	※ガルバ	SUS	着色アルミガラスクロス																																																																																																																																																																													
消火	SGP(白)	STPG370	・	G	R	P	・	・	・	・																																																																																																																																																																												
排水(黒P)	○ VP	RP-VP	・	OG	R	P	合成樹脂製カバー1	・	アルミガラスクロス																																																																																																																																																																													
(黒P)	VP	VU	RP-VU	RS-VU	・	G	R	P	・	・																																																																																																																																																																												
通気	○ VP	VU	RP-VP	・	G	R	P	合成樹脂製カバー1	・	アルミガラスクロス																																																																																																																																																																												
※新熱材被覆鋼管	OSGP(白)	ガス用	※75mm径	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																												
○ 9 エア抜き	※ 異種管の接合要領は図示が無い場合は、標準図(施工3)による (2.2.2.12)																																																																																																																																																																																					
○ 10 絶縁継手	※ ステンレス製 ・ 銅板ろう付け ・ 樹脂製 (2.2.2.20)																																																																																																																																																																																					
○ 11 ボールタップ	○ 合成樹脂製 ※ ステンレス鋼製 ・ アルミニウム合金製 (2.2.2.23)																																																																																																																																																																																					
○ 12 水栓柱	※ 水密を要する部分(つば付き銅管製) (2.2.2.27)																																																																																																																																																																																					
○ 14 支持金物	屋外機器及び屋外、ビルト内配管に使用する支持金物 ※ SUS製 ・ 溶融亜鉛めっき (2.2.6.3) 屋外機器のアンカーボルト ※ キヤップ(樹脂製)を取付ける ・ 取付けない 振動を伴う機器の固定金具のナットはダブルナットとする																																																																																																																																																																																					
○ 15 地中埋設管用テープ	排水管を除き、地中埋設配管にはアルミテープ(ダブル)またはポリエチレンテープ(ダブル)を敷設すること (2.2.7.1)																																																																																																																																																																																					
○ 16 はつり	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の欠明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる																																																																																																																																																																																					
○ 17 塗装	塗装を屋内で使用する場合はホルムアルデヒド放散量は、☆☆☆☆とする (2.3.2.1) 仕上げの色合いは、見本機又は見本塗りを監督員に提出し、承諾を得る 右記範囲内の架の亜鉛鉄板、配管(亜鉛めっきされたもの)、吊りボルトは塗装なしとする ・ 機械室 ・ 電気室 ・ ( )																																																																																																																																																																																					
○ 18 配管接続部の非破壊検査	・ 透過探傷検査(PT)又は磁粉探傷検査(MT) ・ 放射線透過検査(RT) (2.2.6.16.12)																																																																																																																																																																																					
○ 19 ステンレス鋼管施工上の注意	(1)コンクリート壁・床への埋め込み、スリーブ貫通部及びその他躯体との絶縁箇所には、プラスチックテープを1/2重巻11回巻きを施すこと (2)保熱のアス、ネット、巻き線、糊塗等が直接接触しないよう施工すること (3)地中埋設部は、管を土壌に接触させないよう施工すること (4)地中埋設から地上にあるパイプ等に至る管の場合等、異種管接合の際には絶縁フランジを取付けること (5)ステンレス管に使用する80A以上の弁はステンレス弁とすること、または電気絶縁を施すこと (6)60Su以下に使用する継手は とすること、 (2.2.5.7)																																																																																																																																																																																					
○ 20 壁貫通	構造上主要な壁を貫通する場合は、次の鉄筋探査を行う。 ・ レンゲン撮影 ・ 金属探知機																																																																																																																																																																																					
○ 21 あと施工アンカー	・ あと施工アンカーは施工前に計画書を作成すること ・ 施工者資格 ( ・ 第1種あと施工アンカー施工士 ○ 第2種あと施工アンカー施工士 ) ※ 試験 ※ 自主検査 (全数) ・ 加力検査 ( ・ 非破壊試験 箇所 ・ 破壊試験 箇所 )																																																																																																																																																																																					
○ 22 機器取り付け高さ	※ スイッチ類 ・ 一般 床～中心 約1100mm ・ 屋外 床～中心 約1500mm ・ 空調リモコン 1100mm～1500mm																																																																																																																																																																																					
○ 23 砂利地業及び舗装	※ 砂利地業については再生材を利用すること。また、アスファルト舗装については再生密粒度アスファルト混合物を使用すること。																																																																																																																																																																																					
5 空気調和設備	○ 1 温湿度調整目標	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">外気条件</th> <th colspan="8">室内(調整目標値)</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th colspan="2">一般系</th> <th colspan="2">厨房系</th> <th colspan="4">その他</th> </tr> <tr> <td>(DB)</td> <td>(RH)</td> <td>温度</td> <td>湿度</td> <td>温度</td> <td>湿度</td> <td>温度</td> <td>湿度</td> <td>温度</td> <td>湿度</td> <td>温度</td> <td>湿度</td> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>35.5℃ 68.4%</td> <td>26℃ 50%</td> <td>26℃ 50%</td> <td>26℃ 60%</td> <td>26℃ 60%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>-0.1℃ 74.8%</td> <td>22℃ 40%</td> <td>22℃ 40%</td> <td>22℃ 40%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table>		外気条件		室内(調整目標値)								温度	湿度	一般系		厨房系		その他				(DB)	(RH)	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	夏季	35.5℃ 68.4%	26℃ 50%	26℃ 50%	26℃ 60%	26℃ 60%	℃	%	℃	%	℃	%	冬季	-0.1℃ 74.8%	22℃ 40%	22℃ 40%	22℃ 40%	℃	%	℃	%	℃	%																																																																																																																												
		外気条件		室内(調整目標値)																																																																																																																																																																																		
		温度	湿度	一般系		厨房系		その他																																																																																																																																																																														
	(DB)	(RH)	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度																																																																																																																																																																										
	夏季	35.5℃ 68.4%	26℃ 50%	26℃ 50%	26℃ 60%	26℃ 60%	℃	%	℃	%	℃	%																																																																																																																																																																										
	冬季	-0.1℃ 74.8%	22℃ 40%	22℃ 40%	22℃ 40%	℃	%	℃	%	℃	%																																																																																																																																																																											
	○ 2 冷暖房の能力	空気熱源ヒートポンプユニット及びパッケージ形空気調和機の温湿度条件はJIS条件による																																																																																																																																																																																				
	○ 3 成績係数	※ 機器表による。ただし、各メーカーのトップランナーを採用すること。																																																																																																																																																																																				
	○ 4 ばい煙濃度計	・ 設ける (電源は、付真制御盤の2次側より取り出すものとし、配管記録とも本工事に含む) ・ 設けない (3.1.1.3)																																																																																																																																																																																				
	○ 5 ばいじん量測定口	・ 設ける (3.1.1.2)																																																																																																																																																																																				
	○ 6 煙道	・ 鋼板製 ( ・ 3.2mm ・ 4.5mm ) ( ・ 屋内 ・ 屋外 ) (3.1.1.2) ・ ステンレス鋼板製 ( ) mm ( ・ 屋内 ・ 屋外 )																																																																																																																																																																																				
○ 7 ダクト	・ 低圧ダクト ・ コーナーボルト ( ・ 共板フランジ ・ スライドオンフランジ ) 工法 (3.1.14.1)～(3.1.14.4) ・ アングルフランジ工法 ・ スパイラルダクト ・ 高圧ダクト ( )																																																																																																																																																																																					
○ 8 風量測定口	下記の箇所に測定口を取り付けること ・ 図示した位置 ・ 送風機吐出側ダクト又は吸込側ダクト ・ 外気取入ダクト ・ 空調機出口チャンパーの分岐ダクト (3.1.14.13)																																																																																																																																																																																					
○ 9 チャンパー等	(1) 外壁に面するガリリに直接取り付けのチャンパー及びホッパーには、排水管を設け、最寄りに排水すること(3.1.14.6) (2) シーリングディフューザー形吹出口には、下記の接続チャンパーを設けること (a) ネット径がφ200以下のもの 400×400×250H (b) ネット径がφ200をこえるもの 500×500×300H (3) プラズマ形吹出口には、下記の接続チャンパーを設けること (a) シングル形 200X(L+100)×300H (b) ダブル形 250X(L+100)×300H																																																																																																																																																																																					
○ 10 防煙ダンパー及び防火防煙ダンパー	標準仕様書によるほか、下記による (3.1.15.8) (3.1.15.9) 操作方法 同時通電式又は電動式 (DC24V 0.7A以下) 復帰方式 遠隔復帰式(DC24V以下)																																																																																																																																																																																					
○ 11 弁類	JISの呼び圧力5Kとする ただし、特記部分はJISの呼び圧力10Kとする																																																																																																																																																																																					
○ 12 防振継手	・ 合成ゴム製 ・ ベローズ形ステンレス製 (2.2.2.8)																																																																																																																																																																																					
○ 13 フレキシブルジョイント	・ 合成ゴム製 ・ ベローズ形ステンレス製 (2.2.2.9)																																																																																																																																																																																					
○ 14 伸縮管継手	・ スリーブ形 ・ ベローズ形ステンレス製 (2.2.2.7)																																																																																																																																																																																					
○ 15 温度計	取付部は下記による 温度計はガード付きL形温度計で水銀製品以外のもの又はバイメタル式φ100とする (2.2.3.2) (3.1.14.14) ・ ボイラーの温水管(返り) ・ 空気調和機の冷水水管(送り、返り)及び三方弁設置後の冷水水管(送り、返り) ・ 熱交換機の温水管(送り、返り) ・ 冷水水ヘッダー(送り)及び冷水水ヘッダーの各返り管 ・ 空気調和機(パッケージ型を含む)のサブライチャンパー、レタングダクト、外気取入ダクト及びレタングチャンパー																																																																																																																																																																																					
○ 16 圧力計	取付部は下記による (2.2.3.1) ・ 熱源機器の冷水水管(送り、返り)及び冷却水管(送り、返り) ・ 空気調和機の冷水水管(送り、返り) ・ 熱交換機の温水管(送り、返り) ・ 冷水水ヘッダー(送り、返り)																																																																																																																																																																																					
○ 17 瞬間流量計及び測定タッピング(32mmピッチ管 流量計用)	(1) 熱源機器の冷水水管(送り又は返り) ・ 瞬間流量計 ・ タッピング (2.2.3.8) (2) 熱源機器の冷却水管(送り又は返り) ・ 瞬間流量計 ・ タッピング (3) ボイラー又は熱交換機の温水管(送り又は返り) ・ 瞬間流量計 ・ タッピング (4) 空気調和機の冷水水管(送り又は返り) ・ 瞬間流量計 ・ タッピング (5) 冷水水ヘッダーの各返り管 ・ 瞬間流量計 ・ タッピング																																																																																																																																																																																					
○ 18 油面制御装置	制御盤には下記の備子を取付けること。なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。(2.2.3.5) ・ 給油ポンプ制御 ・ 減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 減油ポンプ制御 ・ 減油警報																																																																																																																																																																																					
○ 19 消音内貼り	(1) 施工する場所は、図示したダクト及びチャンパー類とする (2) 内貼りチャンパー類の寸法表示は、外寸寸法とする																																																																																																																																																																																					
○ 20 ファンコイルユニット	調整弁 ・ 流量調整弁 ・ 定流量弁 (3.1.7.4)																																																																																																																																																																																					
○ 21 保温	(1) 機器の保温材 (2.3.1.4) (2) ダクトの保温材																																																																																																																																																																																					
○ 22 予備品	・ ファンコイルユニットの付属品 フィルターは各型番台数の1/2以上 ・ 自動巻取形エアフィルター用フィルター 各1巻 ・ 折込形エアフィルター、プレフィルター(アルミ枠付) 各1/2																																																																																																																																																																																					
○ 23 発生材の処理	※ フロンガスについては、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律、家電リサイクル法等を遵守し、適切に処理すること																																																																																																																																																																																					
6 換気設備	○ 1 ダクト	○ 低圧ダクト ・ コーナーボルト ( ・ 共板フランジ ・ スライドオンフランジ ) 工法 (3.1.14.1) ・ アングルフランジ工法 ○ スパイラルダクト ・ 高圧ダクト ( )																																																																																																																																																																																				
	○ 2 排気フード	排気フードの補強、支持金物、接合材等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による ・ ステンレス鋼板(補強共) ・ フード部には、上記フードと同材質とすること フードの内部周囲のどいには、異種鋼コック又はプラグを取り付けること																																																																																																																																																																																				
	○ 3 ダクトの保温	○ 有 ( グラスウール ) ・ 無 (2.3.1.4)																																																																																																																																																																																				
	○ 4 他の設備項目の適用	下記のものは、空気調和設備の当該項目を適用する (1) 風量測定口 (2) チャンパー等 (3) 防煙ダンパー (4) 消音内貼り (5) ダクトの吊り及び支持																																																																																																																																																																																				
	○ 1 ダクト	・ 亜鉛鉄板 ・ 鋼板(厚1.6mm以上) (3.2.2.5)																																																																																																																																																																																				
	○ 2 排煙口の形式	・ 天井取付 ( ・ スリット形 ・ スイング形 ) ・ 壁取付 ( ・ スリット形 ・ スイング形 )																																																																																																																																																																																				
	○ 3 排煙口開放装置	・ 手動及び遠隔操作の可能なもの ・ 手動 (3.1.15.5)																																																																																																																																																																																				
	○ 4 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書 2016年版(一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準ずる																																																																																																																																																																																				
	○ 1 中央監視制御	・ 有 ( ※ 本工事 ・ 別途 電気設備工事 ) ・ 無																																																																																																																																																																																				
	○ 2 電線管	・ 電線管 ・ PP管(黒べい) (4.1.5.1)																																																																																																																																																																																				
	○ 3 屋内キャビネット	・ 鋼板(厚1.6mm以上) ・ ステンレス鋼板(厚1.2mm以上) (4.1.3.3)																																																																																																																																																																																				
○ 1 一般事項	機器及び仕様は機器表による 衛生機器の色は監督員の指示による 機器器付に伴う補強はメーカー仕様による 据付位置の詳細については、熊本県学校T-I設計指針を基本とし、総合図(機械・電気・機械)を作成のうえ、監督員との協議による																																																																																																																																																																																					
○ 2 小便器用節水装置	個別感知フラッシュ方式 ( ○ 小便器一体型 ・ 小便器分離型 ( ・ 埋込み ・ 露出 ) ) (5.1.1.2)																																																																																																																																																																																					
○ 3 大便器	・ I形 ○ II形 ・ 洗浄弁式 ○ タンク式 ・ 専用洗浄弁式 (5.1.1.3)																																																																																																																																																																																					
○ 4 大便器便座	・ 普通便座 ○ 暖房便座 ※ソフト開閉 暖房便座を設置する場合の、付加機能は次のとおり ○ 温水洗浄機能(水道直結給水方式とする 加熱方式(貯湯式) ○ 瞬間式) ○ 温風乾燥機能 ○ 振音装置 ○ 発電式リモコン																																																																																																																																																																																					
○ 5 大便器洗浄弁	・ 電気開閉式 ( ・ センサー式 ・ タッチスイッチ式 ) ・ 手動式 (5.1.1.5)																																																																																																																																																																																					
○ 6 水栓	・ 一般水栓 ※ 節水型水栓 (5.1.1.6)																																																																																																																																																																																					
○ 7 自動水洗	※ 機器表による 自動水洗の電源供給方法 ( ○ AC100V ・ 電池式 ・ 発電式 ) (5.1.1.7) ・ 手動スイッチ																																																																																																																																																																																					
○ 8 振音装置	※ 機器表による 振音装置の電源供給方法 ( ※ AC100V ・ 電池式 )																																																																																																																																																																																					
○ 1 量水器	(1) 観メーター ( ・ 貸与品 ・ 買い取り ) ( ※ 直読式 ・ 遠隔表示式 ) (2) 子メーター ( ・ 貸与品 ・ 買い取り ) ( ※ 直読式 ・ 遠隔表示式 )																																																																																																																																																																																					
○ 2 量水器樹	(1) 観メーター用 ( ・ 水道事業者の指定品 ・ 標準図 ) (5.1.8.4) (2) 子メーター用 ( ・ 水道事業者の指定品 ・ 標準図 )																																																																																																																																																																																					
○ 3 弁類	(1) 水道直結部分 ※ JISの呼び圧力10K (2.2.2.1) (2) その他の部分はJISの呼び圧力5Kとする ただし、特記部分はJISの呼び圧力10Kとする																																																																																																																																																																																					
○ 4 引込納付金等	・ 要 ( ○ 本工事 ※ 別途 ) ・ 不要																																																																																																																																																																																					
○ 5 緊急遮断弁	・ 有( ・ 機械式 ・ 電気式 ) ・ 無 (2.2.2.22)																																																																																																																																																																																					
○ 6 試験	中水を利用する場合の通水試験は、給水系統に着色水を使用し接続がないか確認すること (2.2.9.3)																																																																																																																																																																																					
○ 1 放流納付金等	・ 要 ( ・ 本工事 ※ 別途 ) ・ 不要																																																																																																																																																																																					
○ 2 洗面器等の排水管	洗面器等に直結する排水管の寸法は器具トラップよりワンサイズアップとする																																																																																																																																																																																					
○ 3 満水試験継手	3階以上にわたる排水水立て管には、最上層を除き各階ごとに満水試験継手を取付ける																																																																																																																																																																																					
○ 4 試験	排水管は、満水試験を行い、衛生器具等の取付完了後に通水試験を行うこと (2.2.9.4)																																																																																																																																																																																					
○ 1 弁類	JISの呼び圧力5Kとする ただし、特記部分はJISの呼び圧力10Kとする																																																																																																																																																																																					
○ 2 その他	貯湯式給湯器のオーバーフローはステンレス管にて最寄りの流しに直接排水すること																																																																																																																																																																																					
○ 1 屋内消火栓箱	屋内消火栓箱の仕様は以下による (5.1.5.2.2) ・ HB-1A ・ HB-1B ・ HB-1AT ・ HB-1BT ・ HB-2A ・ HB-2B ・ HB-4A ・ HB-4B																																																																																																																																																																																					
○ 2 屋外消火栓箱	・ 鋼板(1.6mm) ・ ステンレス鋼板(1.6mm) (5.1.5.4.2) 屋外消火栓箱の仕様は以下による ・ HB-20 ・ HB-21																																																																																																																																																																																					
○ 1 機器の寸法及び据付	概略寸法とする ※ 標準図 施工75 (5.1.6.1)																																																																																																																																																																																					
○ 2 加熱方法	・ 都市ガス ・ 液化石油ガス ・ 電気 (5.1.6.1)																																																																																																																																																																																					
○ 3 安全装置	・ 立ち消え安全装置 ・ 加熱防止装置 ・ 空焚き防止機能 ・ 自動消火装置 ・ 過圧防止装置																																																																																																																																																																																					
○ 4 転倒防止	図示によるほか次の機器に転倒防止措置を施すこと ( ・ ) (5.2.2.6)																																																																																																																																																																																					
○ 1 充てん容器	○ 別途工事 ( ・ 50kg× 6 本 ・ kg× 本 ) ・ 本工事 ( ・ 50kg× 本 ・ kg× 本 )																																																																																																																																																																																					
○ 2 集合装置	標準図 施工74による 6 本立て																																																																																																																																																																																					
○ 3 転倒防止等	標準図 施工74 ( ・ (a) ・ (b) ) による。 また、専用固定具はアンカーボルト(鉄筋に緊結)又はおねじ形ニカナルアンカーとし、鋼はステンレス製とする (6.3.2.1.4)																																																																																																																																																																																					
○ 4 ガスメーター	(1) 観メーター ( ○ 貸与品 ・ 買い取り ) ( ・ 実測式 ・ パルス式 ) ※ LPG用保安機能付マイコンメーター (2) 子メーター ( ・ 貸与品 ※ 買い取り ) ( ・ 実測式 ・ パルス式 ) ※ LPG用保安機能付マイコンメーター (6.2.1.3) (6.1.3.4)																																																																																																																																																																																					
○ 5 引込負担金等	・ 要 ( ・ 本工事 ※ 別途 ) ・ 不要																																																																																																																																																																																					
○ 1 処理能力	処理対象人員 人 処理水量 m <sup>3</sup> /日 流入BOD mg/L																																																																																																																																																																																					
○ 2 型式	・ ユニット形 ・ 現場施工形 (8.1.1.1)																																																																																																																																																																																					
○ 3 放流水質性能	BOD mg/L以下 除去率 %以上 (8.1.1.1)																																																																																																																																																																																					
○ 4 水質表の提出	一定期間経過後、放流水質性能等を入力した水質表を提出すること (8.1.1.1)																																																																																																																																																																																					
○ 5 施工票	※ 処理能力、放流水質、処理方式、施工年月日等を記入したSUS製又は銅板製のものを設ける																																																																																																																																																																																					
工事区分 別表-1の記入上の注意 該当箇所は ● (黒塗り) とし該当しない工事内容及び区分欄は斜線消去すること																																																																																																																																																																																						
別表-1 他工事との工事区分表																																																																																																																																																																																						
機器の基礎		電気関係 配電盤 ・ 制御盤の基礎 屋内 屋外 屋上 自家発電の基礎(アンカーボルトを除く) テレビアンテナ基礎( # ) 遊園計の基礎( # ) 屋内設備(架台、アンカーボルトを除く) 屋上設備( # ) 屋外設備( # )	建築工事	電気設備工事	機械設備工事	別途工事																																																																																																																																																																																
開口部		架台、アンカーボルト 特記した基礎 架、床、壁 貫通スリーブ 架、床、壁 貫通部型枠 軽金属骨下地、壁、天井ボデー類の切込 埋込形電盤、端子盤等の型枠 上記開口部の補強 上記開口部の塵出し スリーブの穴埋め(型枠の穴埋めを含む) フリーアクセスフロア用配線器具																																																																																																																																																																																				
点検口		床、壁、天井 ダクト、チャンパーの接続用フランジを含む																																																																																																																																																																																				
外部取付ガリリ湯沸室のフード																																																																																																																																																																																						
換気扇の取付枠		排水トラップ共 洗い台 防油堤																																																																																																																																																																																				
床下水槽のマンホールふた		雨水 汚水、雑排水																																																																																																																																																																																				
屋外排水管		トイレ手すり 化粧鏡																																																																																																																																																																																				







給排水設備平面図 1/100

※ 建物導入部給水管は、鋼管にてスリケーションを行うこと  
 ※ 建物導入部排水管は、排水フルを使用すること

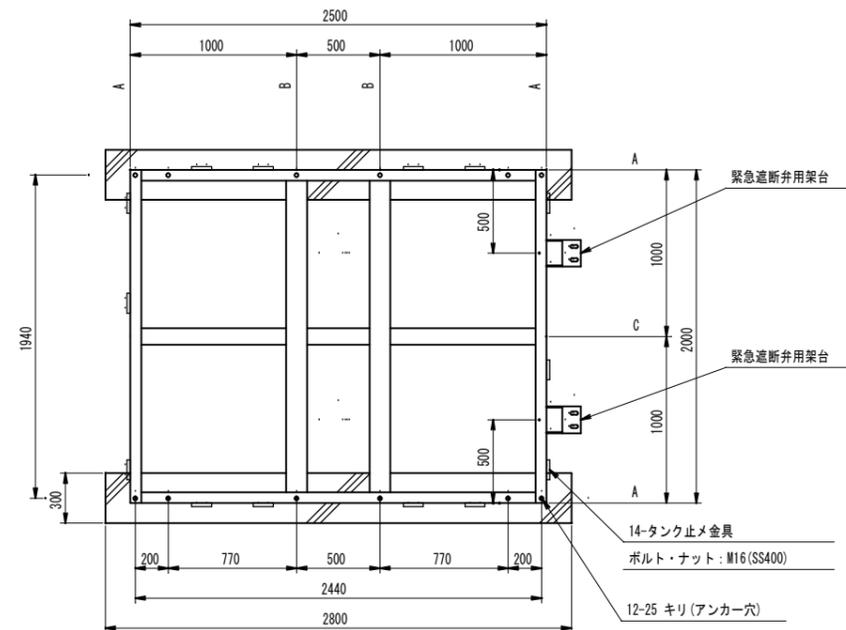
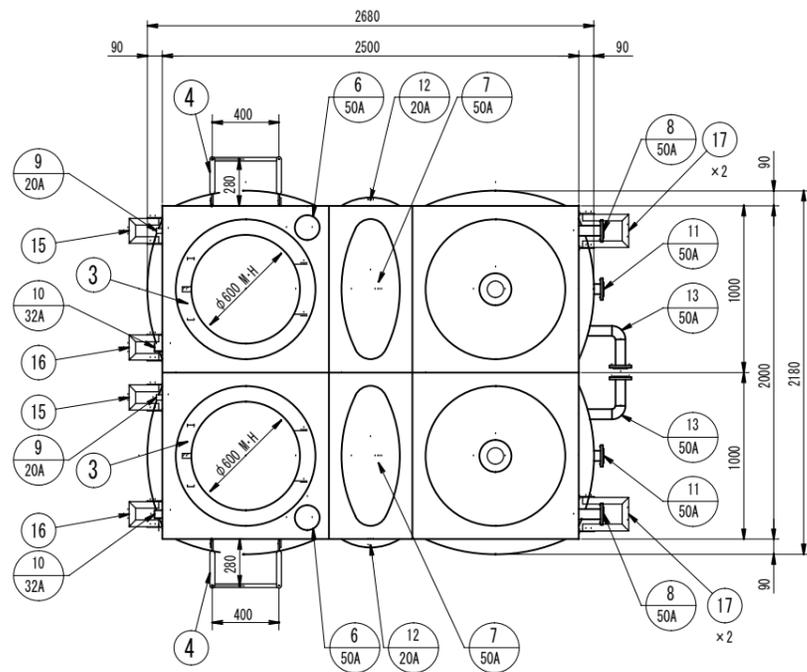
工事名称  
 宇城広域連合南消防署三角分署詳細実施設計

改訂		製図	検図	承認	名称
					図番

給排水設備平面図  
 スケール 1/100  
 作成年月日 2025/00/00

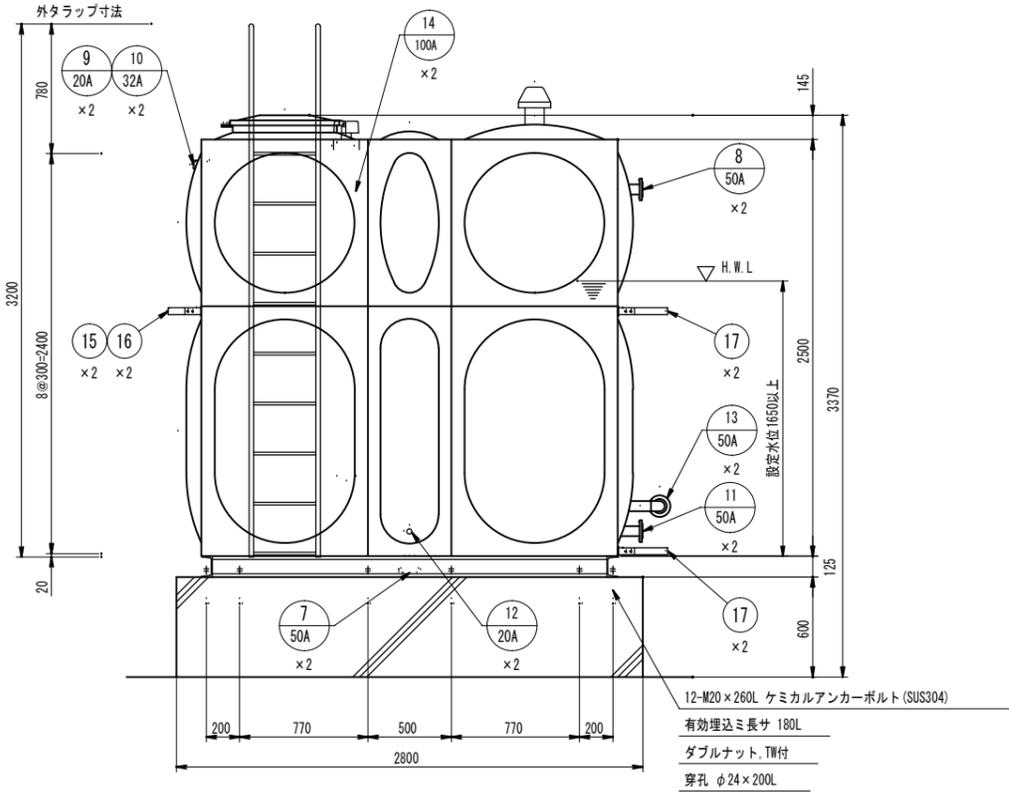
株式会社 宮田設計  
 管理建築士 宮田 真一  
 事務所登録番号 3266号  
 1級建築士 241080号  
 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204

No.  
 M-05



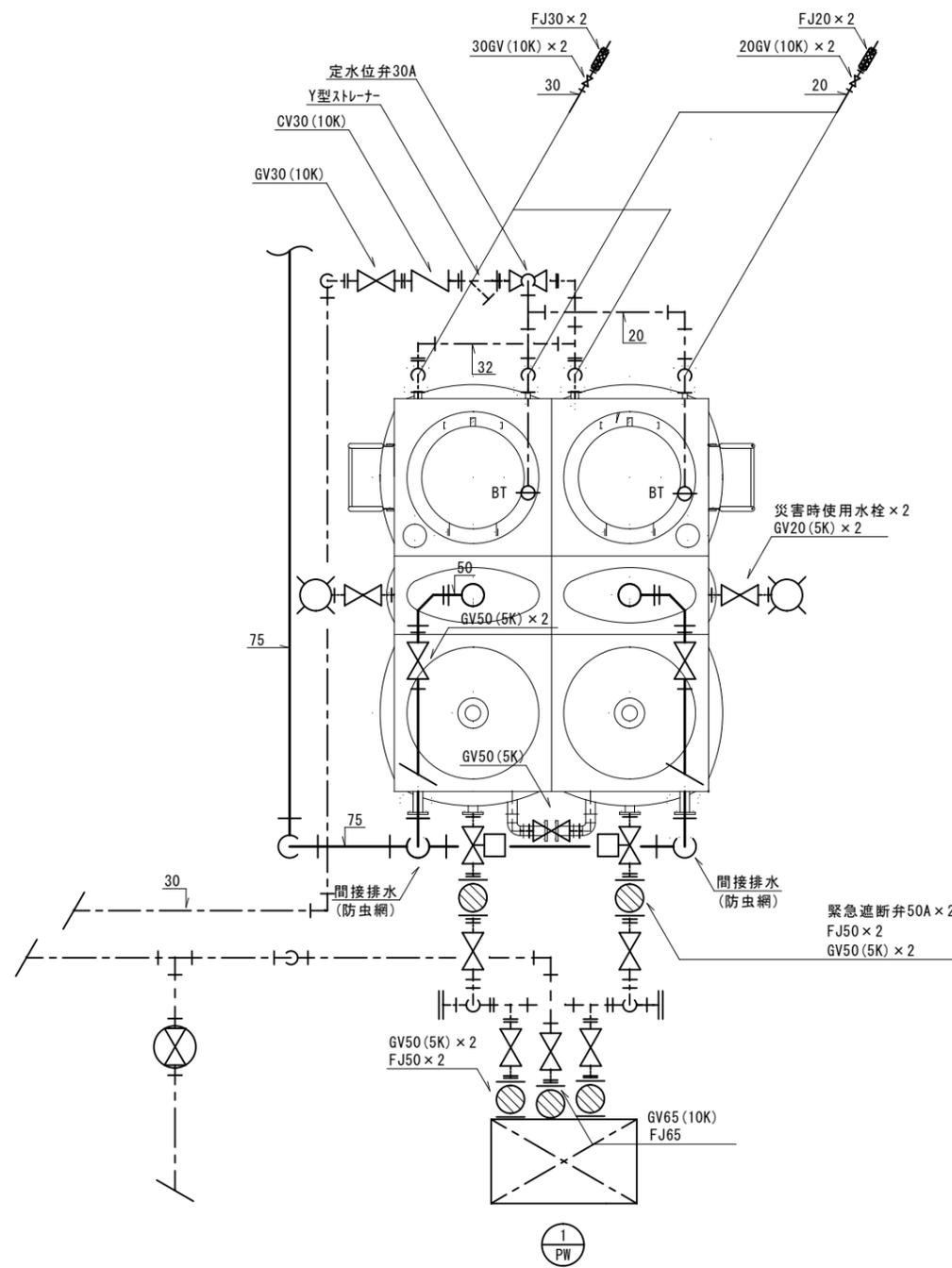
受台伏図

A材 : C-125×65×6  
 B材 : H-125×125×6.5×9  
 C材 : L-100×100×7



品番	名称	材質	寸法	数量	備考
17	配管支持金具	SUS304	W 200 × 300 L	4	---
16	配管支持金具	SUS304	W 150 × 200 L	2	---
15	配管支持金具	SUS304	W 150 × 200 L	2	---
14	電極用防波筒	VPW	100A×2000L	2	有孔管、サポート付
13	連 通 管	SUS304	50 A	2	5KF (SS400)
12	水 栓 口	SUS304	20 A	2	ソケット
11	ポンプ吸込口	SUS304	50 A	2	5KF (SS400)
10	給 水 口	SUS316	32 A	2	内外ソケット
9	給水(B.T)口	SUS316	20 A	2	内外ソケット
8	オーバーフロー	SUS329J4L	50 A	2	5KF (SS400)
7	ドレン口	SUS304	50 A	2	5KF (SS400)
6	電 極 座	SUS316	50 A	2	保護BOX付 (樹脂) オムロン対応型
5	通 気 口	樹 脂	100 A	2	防虫網付
4	外タラップ	STK-φ27.2 RB-φ16	W400×P300	2	溶融亜鉛メッキ
3	内タラップ	SUS329J4L	W370×P300	2	L-30×30×2
2	マンホール	SUS329J4L	φ600	2	首板プレス品、二重蓋式
1	本 体	S U S		1	型式: MP ( 6.25×6.25×12.5 m <sup>3</sup> )

ステンレスパネル溶接形受水槽仕様		1基	S=1/30
寸 法	2000 × 2500 × 2500 H		
本 体	天井板、側板上段	SUS329J4L-1.5t	
	側板下段、底板	SUS444-2.0t	
	仕切板上段は、側板に準ずる。		
	仕切板下段は、SUS444-2.5tとする。		
補 強	L-40×40×4	SUS304A	
タラップ	内 : L-30×30×2	SUS329J4L	
	外 : STK-φ27.2、RB-C16	SS400	
受 台	2000 × 2500 × 125 H	SS400	
	部材 : 図面参照		
フランジ	JIS5KF 規格品 (接水部SUS444) 溶融亜鉛メッキ		
	但し、⑧はSUS329J4Lライニングとする。		
仕 上	SUS溶接部酸洗い仕上		
	受台 : 溶融亜鉛メッキ (外タラップ共)		
質 量	本体 : 810 kg	受台 : 250 kg	計:1060 kg
	耐震 : KH=1.5		
特 記	満水位 (HML) は必ずSUS329J4L使用部分内に設定してご使用下さい。		
	満水位をこの範囲外に設定してご使用になると腐食することがあります。		
	保守点検以外は同水位運転のこと。		
	マンホールは二重蓋とする。		
	附属品 : 緊急遮断弁2ヶ、制御盤1ヶ		
88241677-02 R00			



工事名称  
宇城広域連合南消防署三角分署詳細実施設計

改訂		製図	検図	承認	名称
					受水槽廻り配管詳細図
					図番

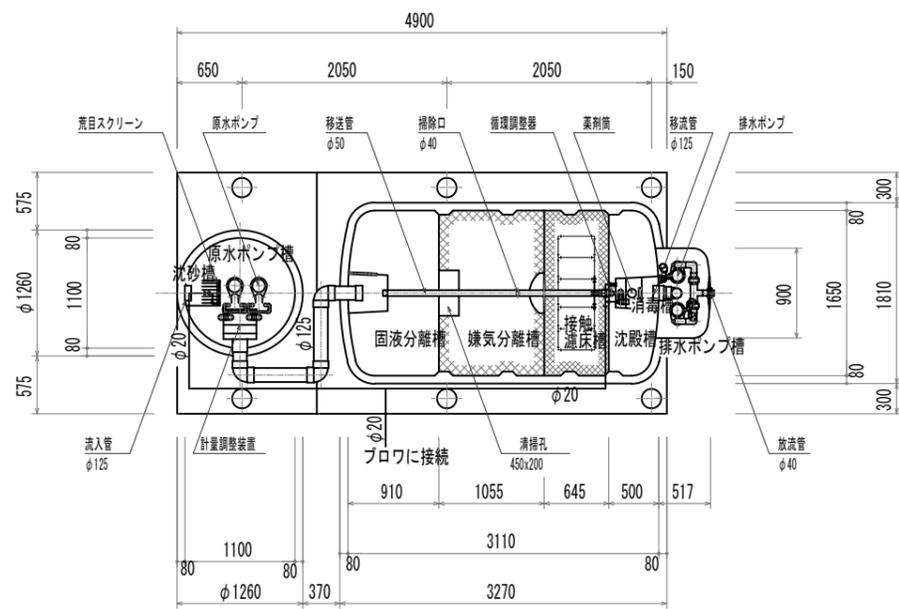
名称  
受水槽廻り配管詳細図

スケール  
1/150

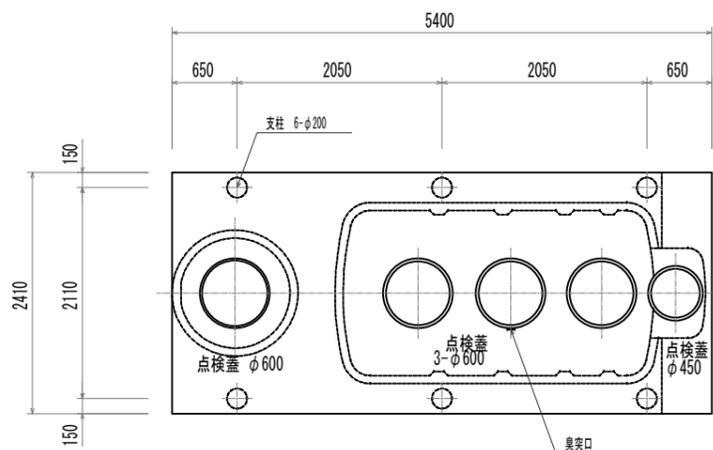
作成年月日  
2024/06/05

株式会社 宮田設計  
管理建築士 宮田 真一  
事務所登録番号 3266号  
1級建築士 241080号  
熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204

No.  
M-06-2



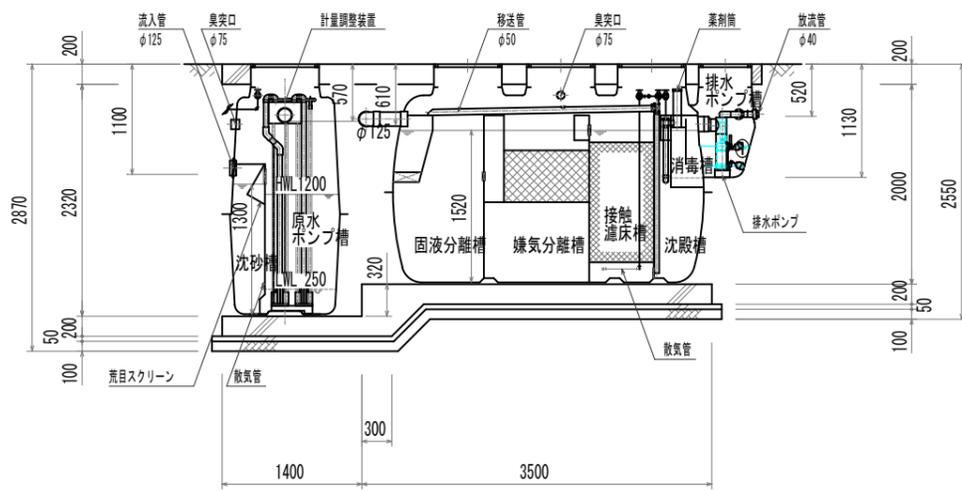
平面図 S = 1/50



スラブ平面図 S = 1/50

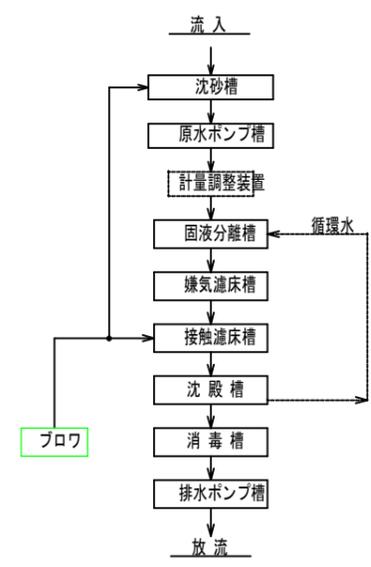
開口仕様

種類	点検蓋 (丸型)
蓋	FRP製
枠	PP製
備考	ロック付



断面図 S = 1/50

フローシート



設計仕様

型式	CXN-18P
認定番号	4-24K-H-010-1
適合認定番号	型01 Cad Oa0184279
処理対象人員	18人
日平均汚水量	3.6 m <sup>3</sup> /日
流入水水質	BOD 200 mg/L
	T-N 50 mg/L
流出水水質	BOD 20 mg/L
	T-N 20 mg/L
	SS 15 mg/L

槽名	有効容量 (m <sup>3</sup> )
ばっ気型スクリーン	0.10
原水ポンプ槽	0.85
固液分離槽	1.88
嫌気分離槽	2.38
接触濾床槽	1.45
沈殿槽	0.87
消毒槽	0.05
排水ポンプ槽	0.07

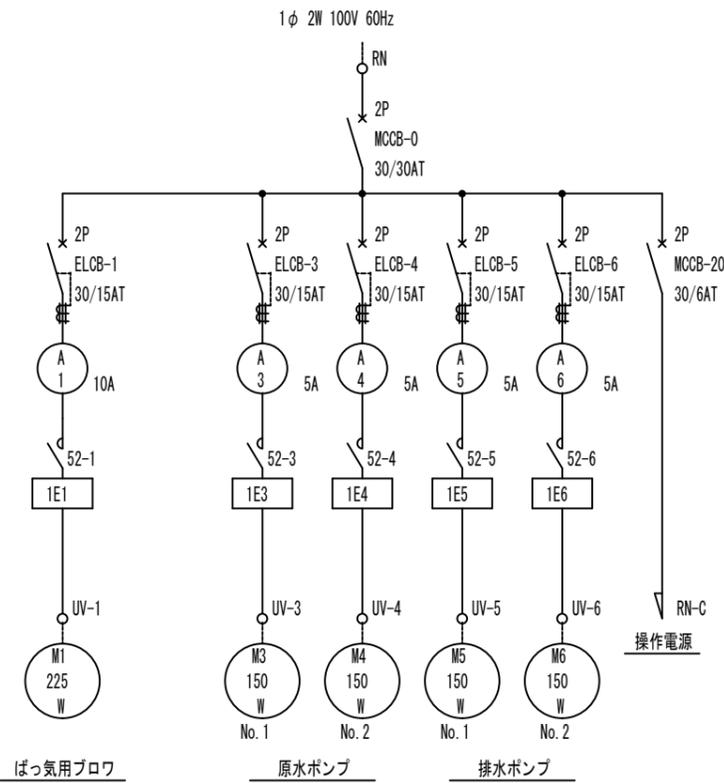
品名	台数	仕様	
プロワ	1	20 A × 250 L / 分 × 0.02 MPa × 225 W	LW-250N
原水ポンプ	2	50 A × 70 L / 分 × 4.0 m × 150 W	40PU2.15S
排水ポンプ	2	40 A × 110 L / 分 × 4.0 m × 150 W	32PN2.15S

[注記] 開口の表示は内径寸法とする。  
 プロワの設置距離により各空気配管口径は大きくなる場合がある。  
 槽外汚水配管で接続しづらい場合は、ドレッサージョイント等を使用すること。  
 原水ポンプは着脱式とする。  
 全高は外寸とする。

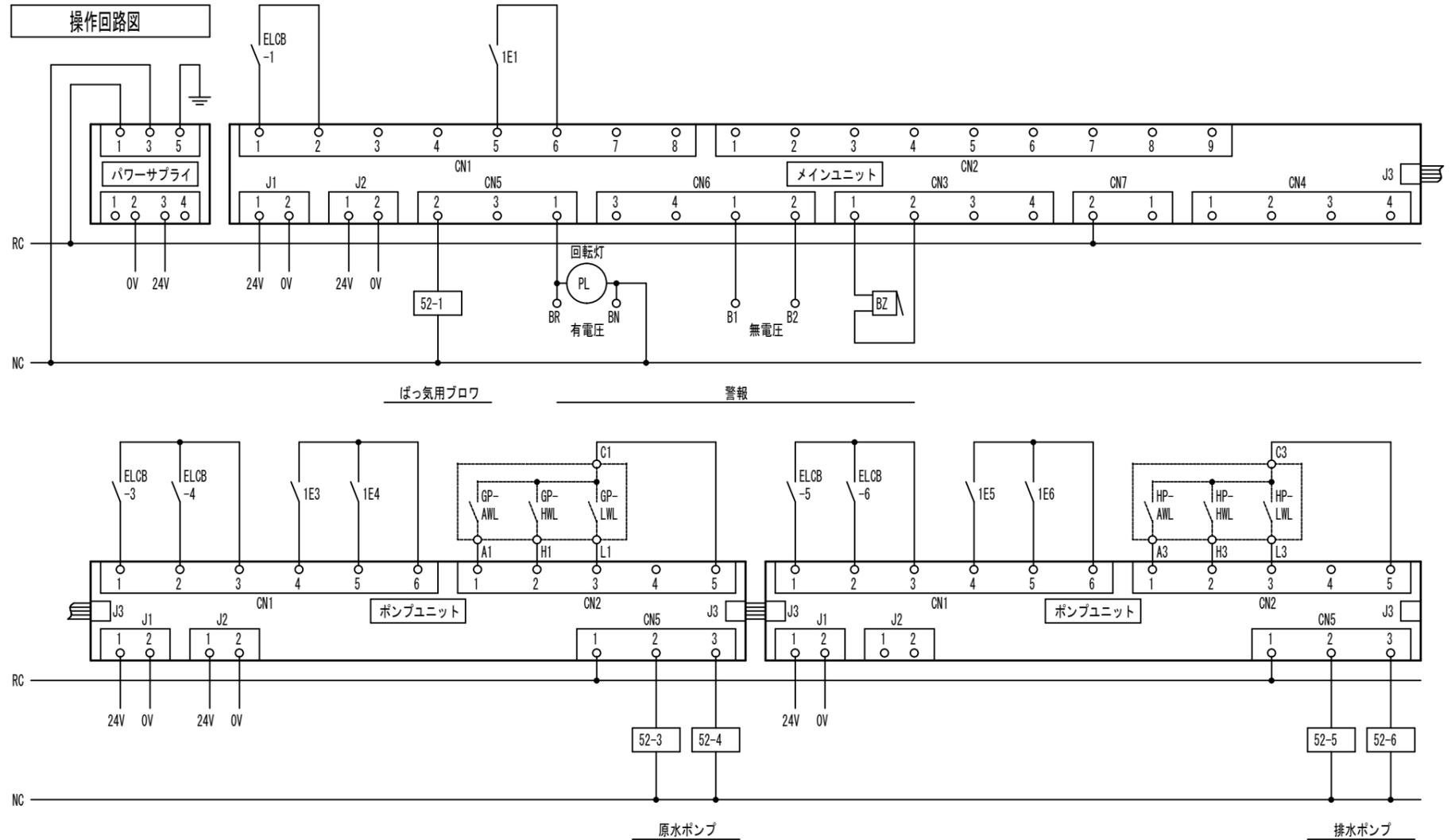
M-07-1



単線系統図

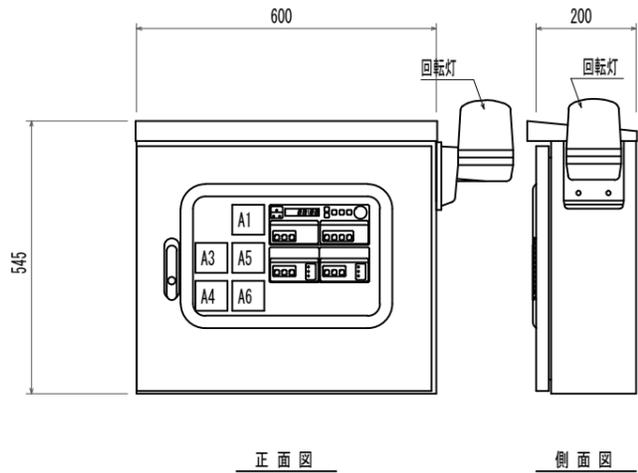


操作回路図



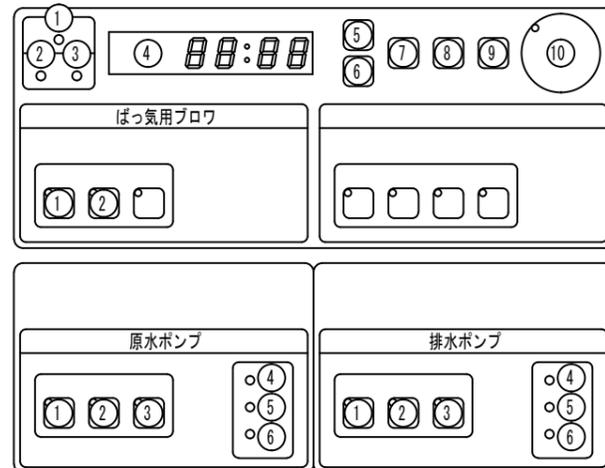
函体寸法図

S=1/10



函体仕様	
本体	1.6mm SPCC
扉	1.6mm SPCC
取付板	1.6mm SPCC
塗装色	5Y7/1(ベージュ系)

操作パネル図



メイン	
1	[電源]ランプ
2	[漏電]ランプ
3	[過負荷]ランプ
4	時刻・パラメータ表示部
5	[UP]ボタン
6	[DOWN]ボタン
7	[確定]ボタン
8	[戻る]ボタン
9	[設定確認]ボタン
10	[プザ-停止]ランプ・ボタン

ばっ気用ブロウ	
1	[自動/手動]ランプ・ボタン
2	[入/切]ランプ・ボタン

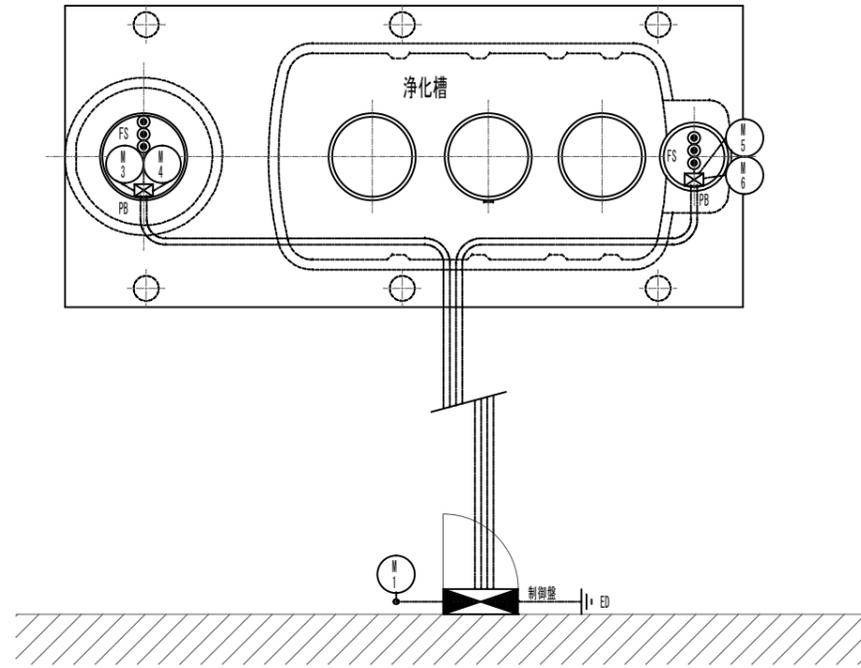
原水ポンプ	
1	[自動/手動]ランプ・ボタン
2	[入/切]ランプ・ボタン(No.1)
3	[入/切]ランプ・ボタン(No.2)
4	[満水 (AWL)]ランプ
5	[高水位 (HWL)]ランプ
6	[低水位 (LWL)]ランプ

排水ポンプ	
1	[自動/手動]ランプ・ボタン
2	[入/切]ランプ・ボタン(No.1)
3	[入/切]ランプ・ボタン(No.2)
4	[満水 (AWL)]ランプ
5	[高水位 (HWL)]ランプ
6	[低水位 (LWL)]ランプ



電気配線図

S = 1/40



建築物

記号	機器名称	容量	電線ケーブル	電線管	PB (VE)
M 1	ブロワ	225 W	CV 2□-3C	22	150×150×100
M 3	No.1 原水ポンプ	150 W	CV 2□-3C	28	
M 4	No.2 原水ポンプ	150 W	CV 2□-3C		
FS	原水ポンプ槽フロートスイッチ	× 3	CVV 2□-4C	22	
M 5	No.1 排水ポンプ	150 W	CV 2□-3C	28	150×150×100
M 6	No.2 排水ポンプ	150 W	CV 2□-3C		
FS	排水ポンプ槽フロートスイッチ	× 3	CVV 2□-4C	22	
ED	D種接地極	—	IV 2.0	16	

[注記] 全ての電線管はHIVE又は、PF管とする。

ケーブル及び電線管は制御盤までの距離により変更することがある。

D種接地極は一次側にて接地する場合は不要とする。

空調機器表

記号	名称	仕様	電気容量			圧縮機	消費効率	数	設置場所	備考
			φ	V	kw					
① PAC	パッケージエアコン	天井埋込カセット形4方向(同時ツイン)						1		
		冷房能力 7.1(1.8~8.0)kW	3	200	1.63	1.35	7.2		出場準備室	RCI-GP80RGHP7
		暖房能力 8.0(2.0~10.6)kW			1.66					
		低温暖房能力 8.2 kW			2.75					耐塩害仕様
		人感センサー・自動昇降ハ・ヒル・リモコン共								
② PAC	パッケージエアコン	天井埋込カセット形4方向(シングル)						1		
		冷房能力 4.5(1.3~5.0)kW	3	200	0.863	0.75	7.7		多目的研修室	RCI-GP50RGH7
		暖房能力 5.0(1.3~6.3)kW			0.950					
		低温暖房能力 5.6 kW			1.87					耐塩害仕様
		人感センサー・自動昇降ハ・ヒル・リモコン共								
③ PAC	パッケージエアコン	天井埋込カセット形4方向(同時ツイン)						3		
		冷房能力 10.0(2.5~11.2)kW	3	200	2.20	1.90	7.5		事務所	RCI-GP112RGHP7
		暖房能力 11.2(2.8~14.0)kW			2.43				食堂	
		低温暖房能力 13.2 kW			4.93					耐塩害仕様
		人感センサー・自動昇降ハ・ヒル・リモコン共								
④ PAC	パッケージエアコン	天井埋込カセット形4方向(シングル)						1		
		冷房能力 4.0(1.1~4.5)kW	3	200	0.750	0.65	7.8		救急資器材消毒乾燥室	RCI-GP45RGH7
		暖房能力 4.5(1.2~5.9)kW			0.847					
		低温暖房能力 5.4 kW			1.77					耐塩害仕様
		人感センサー・自動昇降ハ・ヒル・リモコン共								
① RAC	ルームエアコン	天井埋込カセット形1方向						1		
		冷房能力 2.8(0.5~3.8)kW	1	200	0.630	0.75	5.6		救急資器材庫	RAP-28SM2
		暖房能力 4.0(0.5~7.7)kW			1.05					
		低温暖房能力 5.6 kW			2.75					耐塩害仕様
		ワイヤレスリモコン共								
② RAC	ルームエアコン	天井埋込カセット形1方向						1		
		冷房能力 2.5(0.5~3.6)kW	1	200	0.580	0.65	5.5		洗面・洗濯室	RAP-25SM2
		暖房能力 3.6(0.5~6.9)kW			0.920					
		低温暖房能力 5.0 kW			2.60					耐塩害仕様
		ワイヤレスリモコン共								
③ RAC	ルームエアコン	壁掛形						10		
		冷房能力 2.2(0.4~3.5)kW	1	100	0.400	0.60	7.4		仮眠室1~8	RAS-XJ22R
		暖房能力 2.5(0.3~6.0)kW			0.430				屋内訓練室	
		低温暖房能力 4.5 kW			1.36				W仮眠室	耐塩害仕様
		ワイヤレスリモコン共								

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署詳細実施設計

改訂

製図 検図 承認

名称 図番

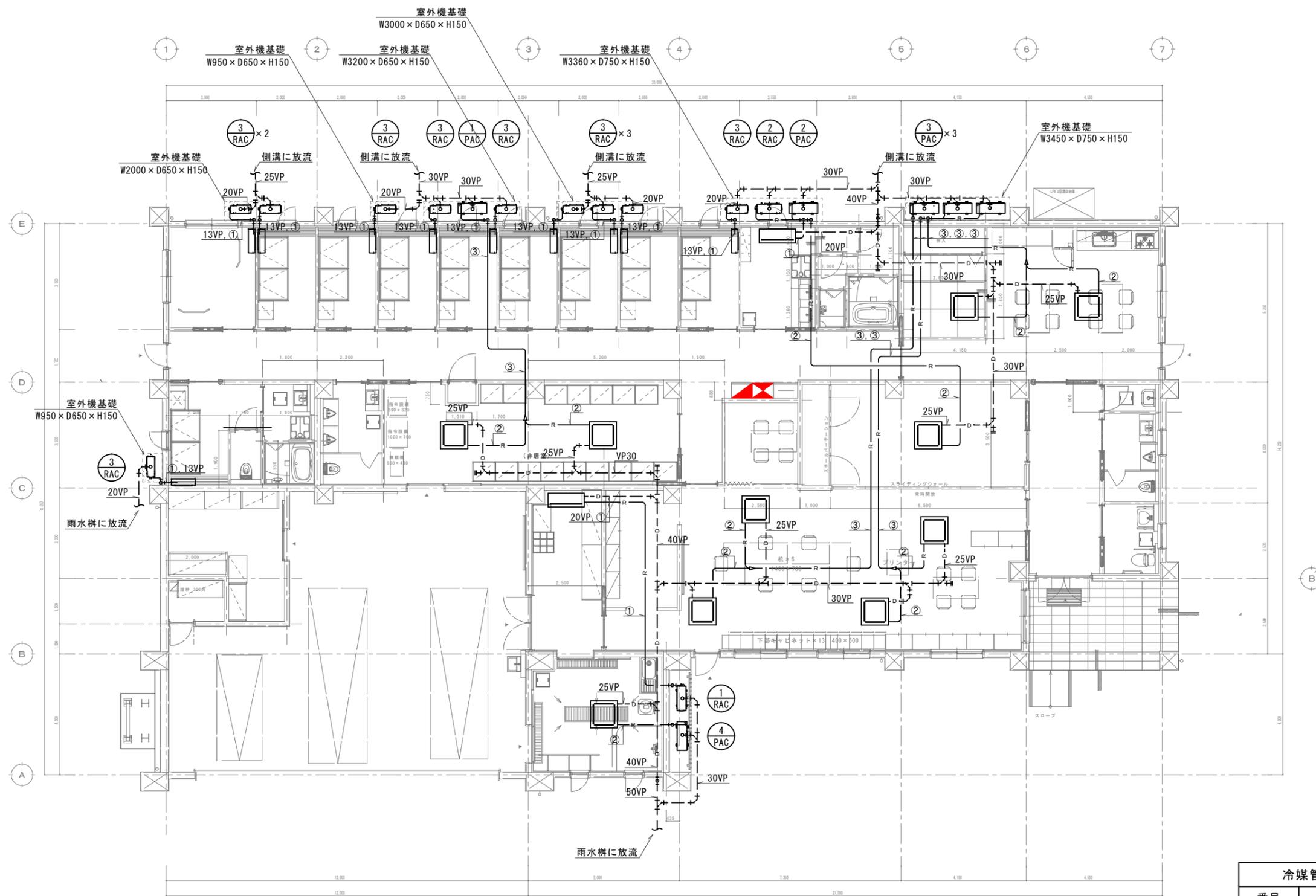
空調機器表

スケール 作成年月日  
N/S 2025/00/00



株式会社 宮田設計 事務所登録番号 3266号  
管理建築士 宮田 真一 1級建築士 241080号  
熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204

No. M-08



空調設備平面図 1/100

冷媒管サイズ表	
番号	サイズ
①	Cut 6.35φ, 9.52φ
②	Cut 6.35φ, 12.7φ
③	Cut 9.52φ, 15.88φ

※室内外機連絡線EM-EEF2.0-3Cは冷媒共巻とする

工事名称  
宇城広域連合南消防署三角分署詳細実施設計

改訂  
製図 検図 承認  
名称  
図番

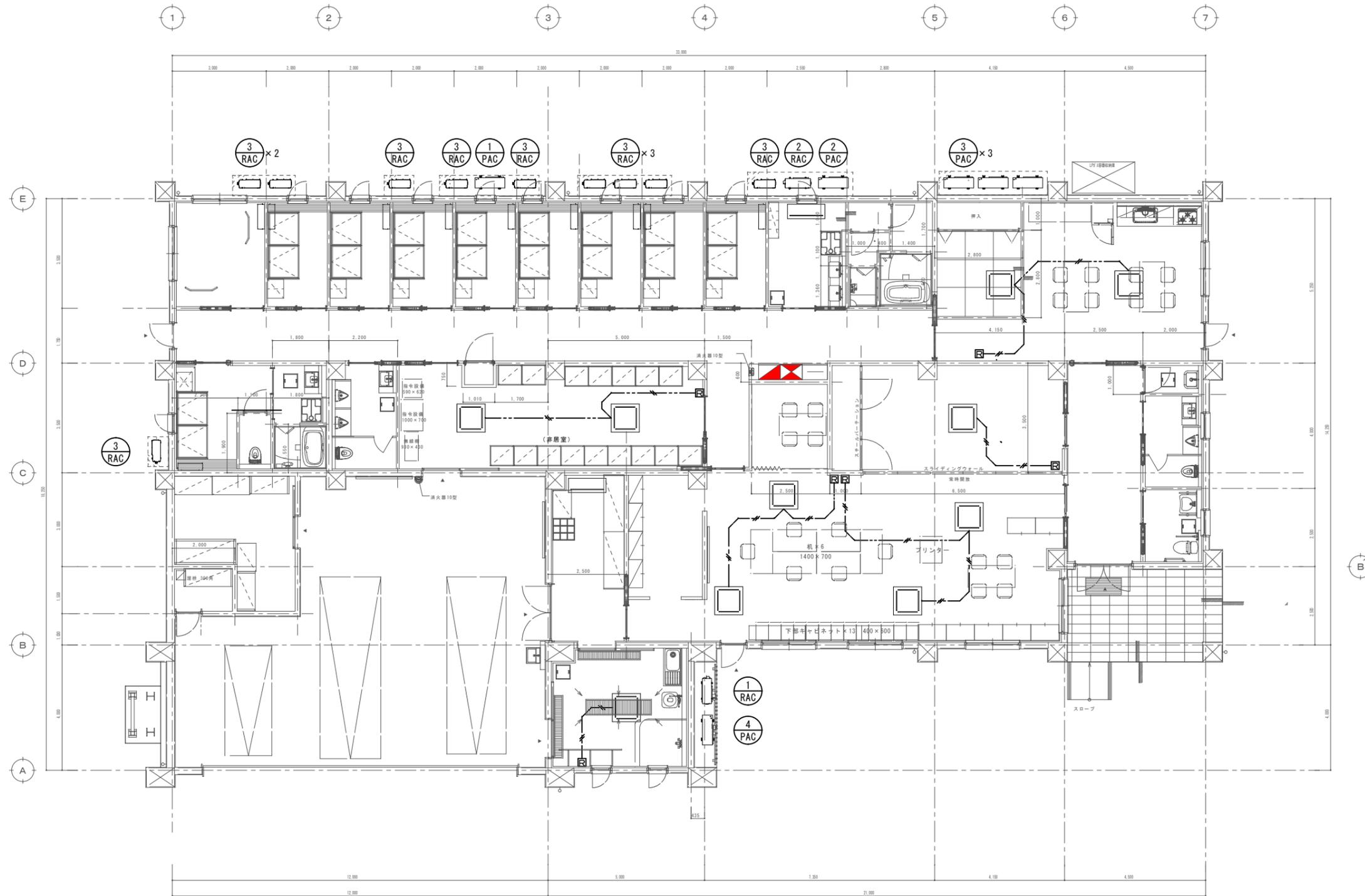
空調設備平面図

スケール  
1/100  
作成年月日  
2025/00/00



株式会社 宮田設計  
管理建築士 宮田 真一  
事務所登録番号 3266号  
1級建築士 241080号  
熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204

No.  
M-09



計装設備平面図 1/100

※リモコン線 EM-CEE1.25-2C

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署詳細実施設計	改訂	製図 検図 承認	名称 計装設備平面図	スケール 1/100	作成年月日 2025/00/00	 株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	No. M-10
			図番				

換気機器表

記号	名称	仕様	電気容量			数量	設置場所 室名	備考 (参考型番)
			φ	V	W			
① EF	ダクト用換気扇	天井埋込形 DCモーター/定風量タイプ 風量: 100m <sup>3</sup> /h 静圧: 20Pa ダクト径: φ100 24hコントロールスイッチ共 SUS深型フード(キヤリ・網付) 指定色	1	100	2.6	11	仮眠室1~8 屋内訓練室 相談室 W仮眠室	VD-10ZVC6
② EF	ダクト用換気扇	天井埋込形 低騒音形 風量: 230m <sup>3</sup> /h 静圧: 25Pa ダクト径: φ150 SUS深型フード(キヤリ・網付) 指定色	1	100	23.5	3	洗面・洗濯(北) MWC(東) MWC(西)	VD-17ZSC13
③ EF	ダクト用換気扇	天井埋込形 DCモーター/定風量タイプ 風量: 575m <sup>3</sup> /h 静圧: 150Pa ダクト径: φ150 24hコントロールスイッチ共 SUS深型フード(キヤリ・網付) 指定色	1	100	80.0	1	食堂	VD-23ZVX6-C
④ EF	ダクト用換気扇	天井埋込形 低騒音形 風量: 545m <sup>3</sup> /h 静圧: 95Pa ダクト径: φ150 SUS深型フード(キヤリ・FD・網付) 指定色	1	100	90.0	1	食堂	VD-23ZXP13-C
⑤ EF	ダクト用換気扇	天井埋込形 低騒音形 風量: 140m <sup>3</sup> /h 静圧: 45Pa ダクト径: φ100 SUS深型フード(キヤリ・網付) 指定色	1	100	15.5	3	HWC(東) 脱衣所(北) 文庫保管	VD-15ZC13
⑥ EF	ダクト用換気扇	天井埋込形 DCモーター/定風量タイプ 風量: 200m <sup>3</sup> /h 静圧: 130Pa ダクト径: φ100 24hコントロールスイッチ共 SUS深型フード(キヤリ・網付) 指定色	1	100	20.0	1	多目的研修室	VD-15ZVX6-C
⑦ EF	ダクト用換気扇	天井埋込形 低騒音形 風量: 200m <sup>3</sup> /h 静圧: 25Pa ダクト径: φ150 SUS深型フード(キヤリ・網付) 指定色	1	100	28.5	2	救急資器材庫 消防資器材庫	VD-18ZX13-C
⑧ EF	ダクト用換気扇	天井埋込形 DCモーター/定風量タイプ 風量: 200m <sup>3</sup> /h 静圧: 125Pa ダクト径: φ100 24hコントロールスイッチ共 SUS深型フード(キヤリ・網付) 指定色	1	100	19.5	1	救急資器材庫(乾燥庫)	VD-15ZVC6
⑨ EF	ダクト用換気扇	天井埋込形 低騒音形 風量: 80m <sup>3</sup> /h 静圧: 20Pa ダクト径: φ100 SUS深型フード(キヤリ・網付) 指定色	1	100	9.3	1	W仮眠室WC	VD-10ZC13
⑩ EF	ダクト用換気扇	天井埋込形 低騒音 人感センサー付 風量: 100m <sup>3</sup> /h 静圧: 40Pa ダクト径: φ100 SUS深型フード(キヤリ・網付) 指定色	1	100	15.5	1	W仮眠室洗面脱衣所	VD-13ZSC13
⑪ EF	ダクト用換気扇 (建築工事)	ダクト径: φ100 SUS深型フード(キヤリ・網付) 指定色	1	100		2	UB	
⑫ EF	ダクト用換気扇 (建築工事)	ダクト径: φ100 SUS深型フード(キヤリ・網付) 指定色	1	100		1	シャワー室	
⑬ EF	強制換気扇 (ベンチレーター)	耐圧防爆形 中間型タイプ(羽径: 20cm) 風量: 120m <sup>3</sup> /h 静圧: 60Pa ダクト径: φ200 引火防止ステンレス網 自然換気用(B型・回転式)	1	100	35.0	1	油庫	MSQ-200S-200 B-180

換気機器表

記号	名称	仕様	電気容量			数量	設置場所 室名	備考 (参考型番)
			φ	V	W			
① HEU	全熱交換器	天井埋込形 DCモーター 風量: 500m <sup>3</sup> /h 静圧: 180Pa ダクト径: φ200×2 24hコントロールスイッチ共 SUS深型フード(キヤリ・網付) 指定色×2 フィルタ付給排気グリル×2他共	1	100	340	1	事務所	LGH-N50RXW2
② HEU	全熱交換器	天井埋込形 DCモーター 風量: 250m <sup>3</sup> /h 静圧: 145Pa ダクト径: φ150×2 24hコントロールスイッチ共 SUS深型フード(キヤリ・網付) 指定色×2 フィルタ付給排気グリル×2他共	1	100	100	1	出場準備室	LGH-N25RXW2
① LF	レンジフードファン	標準タイプ 深形 風量: 380m <sup>3</sup> /h 静圧: 45Pa ダクト径: φ150 SUS深型フード(キヤリ・網付) 指定色	1	100	56.0	1	食堂	V-602K9
① OA	給気グリル	給排気グリル ダクト径: φ100 SUS深型フード(キヤリ・網付)				12	仮眠室1~8 屋内訓練室 相談室 多目的研修室 救急資器材庫(乾燥庫)	P-13GLF6
② OA	給気グリル	給排気グリル ダクト径: φ150 SUS深型フード(キヤリ・網付)				3	食堂	P-18GLF6
③ OA	給気グリル	天井埋込形フィルタ内蔵グリルサレダ ダクト径: φ200 SUS深型フード(キヤリ・網付)				3	廊下 ホール	P-23GSF3

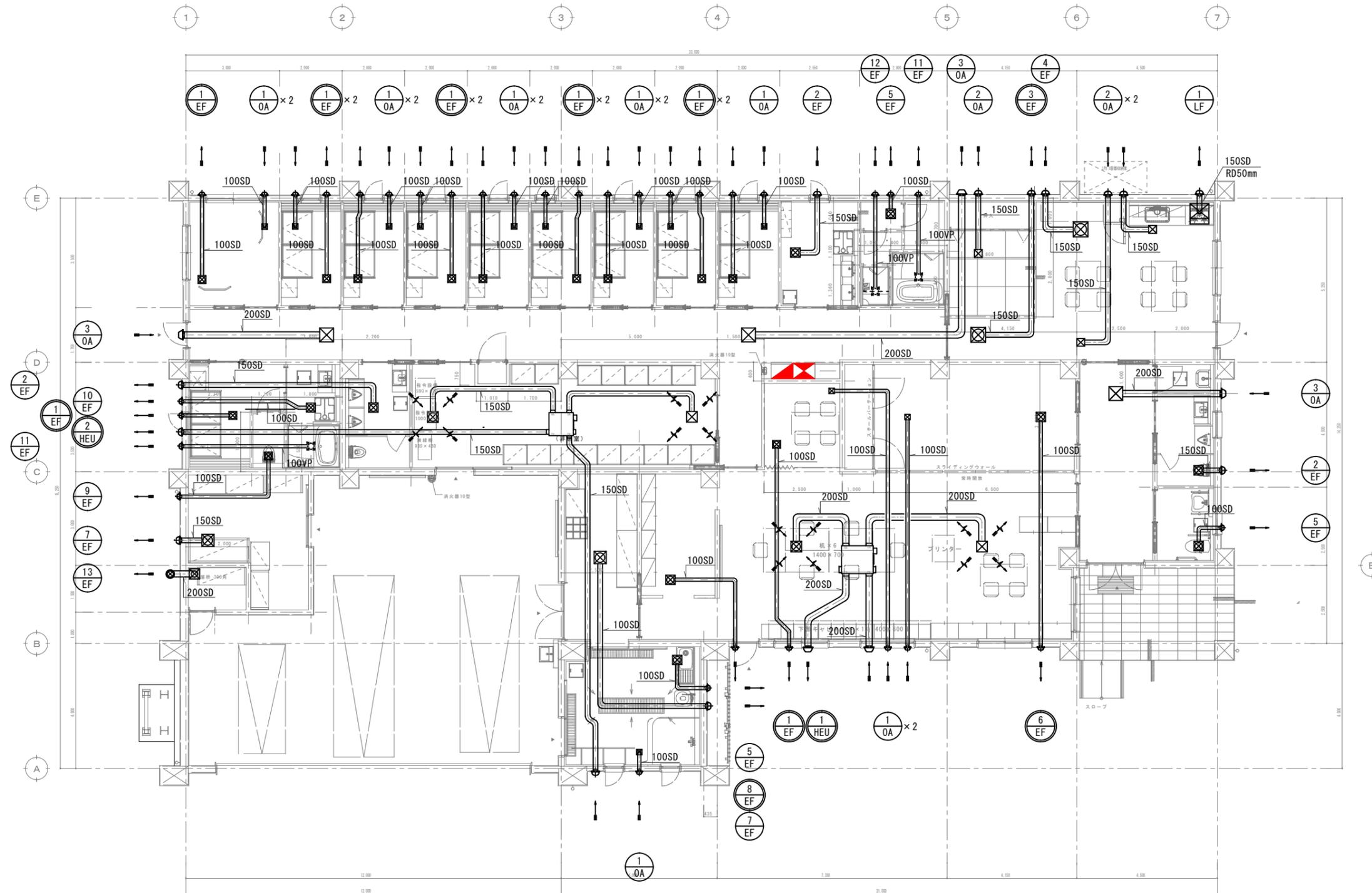
24時間換気計算書

部屋名	①	②	③=①×②	③'	④	⑤=③×④	⑥	判定	機器名	数量	備考
	床面積 m <sup>2</sup>	天井高 m	部屋容積 m <sup>3</sup>	部屋容積小計 m <sup>3</sup>	換気回数 回/h	換気量 m <sup>3</sup> /h	設計風量 m <sup>3</sup> /h				
仮眠室1~8	7.00	2.55	17.9	17.9	0.3	5.4	10	○	VD-10ZVC6	8	EF-1
屋内訓練室	10.50	2.55	26.77	26.8	0.3	8.0	10	○	VD-10ZVC6	1	EF-1
食堂	45.41	3.00	136.23	136.2	0.3	40.9	50	○	VD-23ZVX6-C	1	EF-3
多目的研修室	26.25	3.00	78.75	78.8	0.3	23.6	30	○	VD-15ZVX6-C	1	EF-6
相談室	8.75	3.00	26.25	26.3	0.3	7.9	10	○	VD-10ZVC6	1	EF-1
事務所	69.00	3.00	207.0	207.0	0.3	62.1	70	○	LGH-N50RXW2	1	HEU-1
出場準備室	35.00	3.00	105.0	105.0	0.3	31.5	40	○	LGH-N25RXW2	1	HEU-2
W仮眠室	8.70	2.55	22.18	22.2	0.3	6.7	10	○	VD-10ZVC6	1	EF-1
救急資器材庫 (乾燥室)	20.0	2.70	54.0	54.0	0.3	16.2	20	○	VD-15ZVC6	1	EF-8

火気(ガス)の換気量

部屋名	計算式				判定	機器名	数量	備考
	① 換気扇 換気係数	② LPG k:理論排ガス量 m <sup>3</sup> /(kW/h)	③ - Q:実情に応じた燃料消費量 kW	④=①×②×③ V:有効換気量 m <sup>3</sup> /h				
食堂	30.0	0.93	9.1	253.89	○	V-602K9	1	LF-1

ガス栓の構造は昭和56年建設省告示第1099号の規定に従い、以下の構造方法とする  
 ・ガス栓と金属管との接合をねじ接合とする  
 ・過流出安全機構を有する  
 ・ガス漏れ警報設備を設ける(LPGガス用) ガス漏れ警報器本体は今回工事範囲外



換気設備平面図 1/100

- ※  $\odot$  は、24h換気を示す
- ※ 給気が'外はGWにて保温施工とする
- ※ 排気が'外は壁面より1mGWにて保温施工とする
- ※ キッチン'排気はRWにて保温施工とする

工事名称 宇城広域連合南消防署三角分署詳細実施設計	改訂	製図	検図	承認	名称 換気設備平面図	スケール 1/100	作成年月日 2025/00/00	 株式会社 宮田設計 管理建築士 宮田 真一 熊本県宇城市三角町波多2718-1 TEL 0964-52-3204	事務所登録番号 3266号 1級建築士 241080号	No. M-12
		図番	名称 換気設備平面図	スケール 1/100	作成年月日 2025/00/00	No. M-12				